

新基地建設反対名護共同センターニュース

名護市長 渡久地武豊さま

名護市政を考える女性の会

「市民の声を国と県に届けてください。」



渡久地市長（円内写真）に要請書を手交する「いーなぐ会」の浦島事務局長→



これに対し渡久地市長は、①について「不承認とするかどうかはこれから検討し、市議会にも図っていく。これからの協議だ」。②について「ボーリング調査を行っていることは承知しているが民有地で地主の許可を得ており市として関知しない。市には防衛局から水路切替工事の申請は届いていない。申請がされたら適切に対処する」と答えるに留めました。要請後、浦島事務局長は「予想通りの回答だったが、今後も民意を市長に届けて新基地建設を許さないたたかいを強めたい」と話していました。

- ① 沖縄防衛局の設計変更承認申請にあたっての沖縄県からの意見照会に際しては、名護市民の民意を踏まえ「不承認」とするように県に要請すること。
- ② 美謝川水路切替工事については、防衛局との協議において経緯をたどるとともに、環境保全上、また名護市民の基地反対の民意を踏まえ「不同意」とすること

名護市政を考える女性の会（通称「いーなぐ会」）は2日、浦島悦子事務局長など代表が名護市役所を訪れ渡久地武豊市長と面会、「市民の声を国と県に届けてください」と要請を行いました。要請項目は以下の2項目。

名護市政を考える女性の会が名護市長に要請

- ① 設計変更申請は「不承認」と県に要請すること
- ② 美謝川の水路切替工事を「不同意」とすること

「うるま市島ぐるみ会議」も名護市に要請

うるま市島ぐるみ会議は2日、伊波義安共同代表など25人が名護市役者を訪問、防衛局が埋立工事に不可欠な美謝川の進路を変えるためにボーリング調査を進めている問題で「名護市長は美謝川の水路の切り替え工事を承認しないように」と要請行動を行いました。名護市側は総務部長らに対応。同部長は「防衛局からはまだ申請書が届いていないので対応は未定だ」と回答しました。



島ぐるみの宮城英和事務局長などが市側から積極的に権限を行使し、市民と県民の民意と暮らしを守るために美謝川の切り替えを認めないよう強く要請しました



名護市役所前で氣勢を上げる「うるま市島ぐるみ会議」の人々

オール沖縄と沖縄9条連「任命」拒否で抗議の会見



【お詫びと訂正記事】

当ニュース315号（11月3日付）で「任命拒否でコール沖縄会議が抗議」の記事中、写真を「沖縄9条連」が同趣旨で記者会見した下の写真を誤って掲載しました。関係者にお詫びするとともに訂正記事を改めて掲載します。

「憲法9条－世界へ未来へ沖縄連絡会」（沖縄9条連）は10月23日、記者会見し、学術会議の会員拒否問題で「学問の自由への不当な政治介入だ」と抗議し、撤回を求めました。



↑ 記者会見する沖縄9条連の代表

「オール沖縄会議」の共同代表ら（写真↑）は10月27日、県庁で記者会見し菅首相が日本学術会議の会員6人を任命拒否した問題に強く抗議し、撤回と任命を求める声明を発表しました。声明では、学問の自由を「真っ向から踏みこむ違憲・違法行為」だと厳しく批判しています。（提供・しんぶん「赤旗」）



2021年やんばるカレンダー
好評販売中!

例年好評の写真家・森住卓さんの「やんばる写真カレンダー」を販売中です。頒価1,100円（送料込）お申し込みは名護共同センターへ（本ニュース最上欄ご参照）